第 26 号
発行
平成25年8月1日
（隔月発行）

「ゆめこらぼ」は、コラボレーション（協働）によって夢を広げ、夢があふれる空間をめざします。

発行：西東京市市民協働推進センター　ゆめこらぼ　〒188-0012　東京都西東京市南町 5-6-18　イングビル

NPO 市民活動ネットワーク
第３回　NPO 市民活動団体～交流の集い～

6 月 29 日(土) に市役所田無庁舎で、NPO 法人や市民活動団体の「交流の集い」を開催し、49 団体と一般市民合せて 61 名が参加しました。

3 回目となる今回は、ゆめこらぼ登録団体が 100 団体を超えたこと、4 月以降実施中の団体のヒアリングで他の団体の活動を知らないことや団体同士のネットワーク作りを望む声が寄せられたことから、団体を中心に参加者を絞って募集し開催しました。

また、交流の集いは団体同士のつながりを作る場、12 月に予定の NPO 市民フェスティバルは市民に向けてアピールする場とするよう、目的を明確にして実施しました。

西東京市協働コミュニティ課、浜名幹男課長と西東京市社会福祉協議会地域福祉課、丸木敦課長のお二人の挨拶のあと、参加者同士の交流を行いました。

参加者は予め指定された番号のテーブルを 3 回移動し、それぞれのテーブルで違うメンバーと交流できるよう企画しました。各テーブルではひとり 5 分以内で自己紹介を行ない、各団体の今後のイベントが記載された自己＆団体紹介カードを利用するなどして活発な交流が行われました。団体の近況や課題、苦労話などの本音トークが交わされ、大いに盛り上がりました。

休憩の合間には市と商工会の「一店逸品」事業で選ばれた地元の和菓子、ケーキなどが配られ、参加者からの評判も上々でした。

西東京市の「一店逸品」▶

▲各テーブルでの話合いの様子

参加者のうち50名の方からアンケートに回答をいただきました。有意義だったと回答した方が 39 名になるなど、主催者としては一安心の結果でした。

その他には、もっと多くの団体と話したかった、各団体ともっとゆっくり交流したかった、会場が狭く声が聞き取りにくかったなど、寄せられたご意見については次回の課題として検討、反映させていきたいと思います。

なお、開催目的についての質問に対しては、次回の交流の集いも今回同様に団体同士のネットワーク作りとすることに賛同する回答が35名でしたので尊重させていただきたいと思います。

ご都合で途中退席された方を除いて、ほぼ全員で最後に集合写真を撮って解散となりました。

▼終了時での集合写真

NPOのための支援事業

避難所運営ゲーム共催実施

6月15日(土)に、NPO法人西東京NPO推進センター[セプロス](以下、セプロス。代表：浜昱子)との共催で「避難所運営ゲーム」を保谷駅前公民館へ出前して実施しました。参加者は19名でした。

避難所運営ゲーム(以下、HUG)は、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験し、避難所の運営について皆で考えるアプローチとして静岡県が開発したカードによるゲームです。

ゆめこらぼでは、市民や地縁組織とのつながりのきっかけ作りに役立てるため、今年度からHUGを共催実施することとし、共催者を募集していました。

「セプロスで考える防災」プロジェクトを立ち上げ計画づくりをしていたセプロスがHUGに応募、今回の開催となりました。実施に当たっては、以前からHUGに取組み、ゲームの改良に携わった田無スマイル大学実行委員会(代表：富沢木実)に協力していただきました。

参加者は、セプロスの理事、会員で顔見知りということもあり、スムーズに進行していました。

アンケートは全員に回答いただき、普段関心のないことだったので有意義だった、日頃からリーダーを養成しておく必要がある、災害時に起こることが想像できた、など多くのコメントをいただきました。

参加者19名中14名の方が地域とのつながりに役立つと思うと回答され、地域ごとに実施して欲しい、繰り返し実施する必要性、回数を重ね事象に備えることの大切さなど、いただいたご意見を踏まえ、今後も取組んでいきたいと思います。

なお、6月27日(木)にはふれあいのまちづくり事業の「ふれまち世話人連絡会」でも同様の取組みを実施し、ふれまち世話人とふれまち推進委員合わせて38名が参加しています。なお、共催実施への応募は、ゆめこらぼまでお願いします。

▲避難所運営ゲームに没頭する参加者の皆さん

広報力ＵＰ講座　第２弾

ホームページを公開したら最初にやるべきこと

6月30日(日)、NPOのための支援事業として、ソーシャル・マーケティング協会理事の白鳥友康氏を講師としてお迎えし、イングビル会議室で広報力UP講座第2弾を開催しました。

昨年度の広報講座をきっかけに活動団体のホームページを立ち上げた方、効率化を図りたい方、ターゲットを絞りたい方、その効果を発揮したい方、など16名が参加されました。

白鳥氏は、人を引き寄せ、来てもらうPULL型の情報媒体と言えるホームページを活用し､NPO団体の活動や価値感、思いを伝えるコツやポイントについて適宜参加者の質疑に応えながら、全体的な説明をされました。また今回はクチコミが発生しやすいソーシャルメディアについても、日本人ユーザーの実態から、その効果と活用の秘訣など、ポイントを押さえた具体的な説明がありました。

最後に、アクセス解析、検証、メルマガなどの発信など改善につながる「これからやるべきこと24項目」が提案されました。参加者からは「具体的な行動につなげられる」という感想もありました。今後も市民活動団体のニーズにあった支援事業を展開していきたいと考えています。

▲講師の白鳥氏

ＮＰＯ市民フェスティバル

第１回実行委員会

第5回NPO市民フェスティバルの第1回実行委員会が、7月13日(土)ゆめこらぼサロンコーナーで開催されました。出席者は実行委員4名が新たに応募し、ゆめこらぼスタッフを含め9名となりました。

他のイベントと重複しないよう12月に前倒し開催すること(従来は２月開催だった)、互選で正副委員長に佐藤文俊氏、高橋二郎氏を選出すること、申し出のあった「お父さんお帰りなさいパーティー（4面に解説あり)」の同時開催を承諾することなどが決まりました。

次回〖8月21日(水)予定〗では、テーマや会場などを決定する予定です。

登録団体活動紹介

ボーイスカウト西東京第二団

今回は、ボーイスカウト西東京第２団ビーバー隊の活動をご紹介します。毎年恒例のイベントである＜流しそうめん＞が６月 23 日(日)、スカウト 23 名に加え、見学者、保護者、リーダなど総勢 60 名ほどが参加して行われました。

市内の農家から頂いた竹で椀も箸も自分たちで作り、いよいよそうめんが流れます。子どもたちの歓声の中、涼を感じる楽しい一日でした。

当団では社会で通用する子どもたちを育てることを目的としたプログラムで活動しております。今後も段ボール船を作って川遊びするなど楽しいイベントが目白押しです。ぜひ親子で体験して頂きたいと、隊長のお話。

イベント情報はゆめこらぼHPからもご覧になれます。スカウト随時募集、見学も大歓迎です！
☎090-6931-3570 金田までお問合せください。

登録団体活動紹介

NPO 法人まちかど保健室

７月 18 日(木)まちかど保健室の主催する講座「まかせてちょうだい！じーじ、ばーばの孫育て！」に参加し、赤ちゃんの心と体を健やかに育てるために大切なことを学んできました。昔から伝わる手遊びが脳の発達を促し、意欲を高めることを改めて理解しました。

子どもの好きな甘い飲食物の取り方については、加藤講師のわかりやすい説明におばあちゃま達も納得していました。会場の傍らには子どもをあやすママ達がいて、同じ情報を二世代で共有する素晴らしい時間を過ごしました。

まちかど保健室では色々な講座を主催しています。

今回は育児でしたが、個別にも対応できるのでお気軽にご相談をいただきたいとのことでした。

▲手遊びの説明をする加藤さん

◆◆これからのイベント情報！◆◆

夏休み親子自然観察会

虫を見よう
描いてみよう

◆主催：西東京　自然を見つめる会
（公民館市民企画事業）
◆日時：8 月 21 日(水) 9:30～12:00
◆場所：　東大農場(正門前集合)
◆対象：幼稚園児以上のお子さんと付添いの保護者
◆参加費：無料
◆指導：中西　章氏（昆虫研究家）
◆問合せ先：　☎042－464－1157(中村)

NPO のための労務講座

～雇う人、働く人の基礎知識　労務入門編～

トラブルになる前に知っておきたいこと。
人を雇う時、雇われる時の取り決めなど教えます

◆日時：10 月 12 日(土)　14:00～16:30
◆場所：イングビル３階　第 3，4 会議室
◆対象・定員：市内の市民活動団体や NPO 法人の関係者、市民活動に興味・関心のある方。
先着 20 名まで。
◆参加費：無料
◆申込方法：電話、ファックス、Ｅメールで、① 氏名(ふりがな) ② 団体名 ③ 住所　④ 連絡先（電話・ファックス・Ｅメール）　⑤ 相談内容を明記のうえ、10 月 7 日(月)までにゆめこらぼまでお申込みください。

新たな登録団体　＜2013 年７月末日現在＞

◆SAVE ザ 9 条・SAVE ザ 憲法 西東京実行委員会
目的：憲法を守り、次世代に引き継ぐ。
◆対話ラボ
目的：対話の手法のノウハウや実践を共有する場を作っていく勉強会やワークショップを行う。
◆ラグの会
目的：年齢制限なく、誰でも楽しめるラグづくりをする。
◆ぶーけ
目的：障害児の親もきょうだいも安心して生活するため、必要なことは何かを考え、楽しく、皆で協力して情報収集しています。
＜７月末現在 112 団体になりました＞

≪助成金情報≫

◆平成 25 年度(第 20 回)ボランティア活動助成
【対象】ボランティア活動を目的とした団体・グループ、学生･若者のボランティア活動も積極的に支援します。(申込みに際しては、社会福祉協議会若しくは、共同募金会の推薦を**必ず**受けてください。)
【助成金】上限額 30 万円（1 団体当たり）
総額 3,300 万円　（上限 3,600 万円）
【応募期限】平成 25 年 9 月 15 日（当日消印有効）
【問い合せ】〒104-0031 東京都中央区京橋 1-2-1　大和八重洲ビル公益財団法人 大和証券福祉財団
電話 03-5555-4640　FAX：03-5202-2014

〈2 面記事の語句解説〉

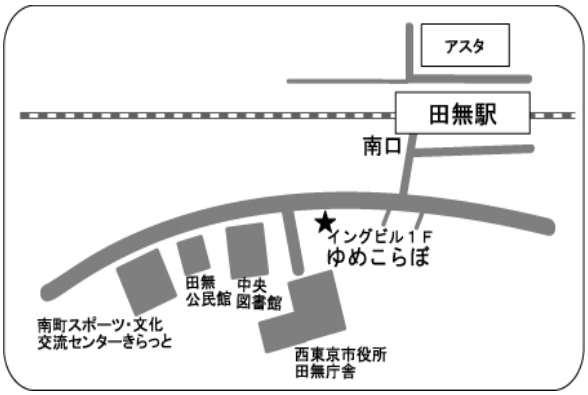
※「お父さんお帰りなさいパーティー（通称オトパ)」は、武蔵野市や八王子市などで活発に行われているイベントで、定年前後の方々に地域デビュー、社会参加のきっかけ作りを目指して開催されているものです。

仕事一筋で地元に縁の少なかった方々が退職後の人生を豊かにするためのお手伝いをする有志の方が西東京市で実行委員会を立ち上げました

【お詫び】前号の＜新委員紹介＞で記載に誤りがございました。謹んでお詫び申し上げます。
(誤)　中村堅司委員　→（正）中村賢司委員

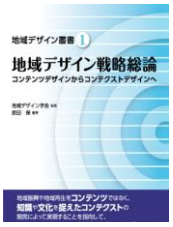
また、ゆめこらぼホームページの登録団体紹介で一部掲載に誤りがございました。重ねてお詫び申し上げます。

今後、正確な情報をお伝えするために最善を尽くしてまいります。お気づきの点がございましたら、お知らせいただきたいと思います。



みんなの本棚

地域デザイン戦略総論
― コンテンツデザインから
コンテクストデザインへ ―
地域デザイン学会編集
原田保編著 芙蓉書房出版



この本は、地域振興や地域再生を単なるコンテンツ(特産物や事跡、施設)ではなく、サービスやソフトをコンテクスト（文脈）として捉えて、持続的なビジネス展開が可能となるプラットフォーム（基盤）の構築が必要であると提言しています。

2012年１月に設立された地域デザイン学会が、多面的な分析と具体的事例による検証から､「地域デザイン」とは何かを示したものです。

地域ブランド価値を発現したり、増大したりするには、戦略的ゾーンデザインの構築が必要であるとしています。また、それには地域にある様々な伝説的、伝統的なエピソードメイクが、最大の効果を発揮出来るゾーンデザインが行われることになるとも唱えています。

つまり、「地域デザイン」には、戦略的ゾーニングにより､誰にでもわかるようなイメージにしていく為に、単なるエピソードではなく、思わず語りたくなるような体験談を共有化するストーリーテリングが必要であるとしています。これこそが、地域ブランドの価値創造に繋がると唱えています。

我々が住む街に誇りが持てるような街づくりとは、どのような街なのでしょうか?

その指針となるべき､アカデミック且つ具体的事例に基づいた大変わかりやすい本です。是非とも一読をお薦めします。

（新町在住　伊藤　幸久氏）

開館日:水～月(10 時～21 時)土･日･祝日オープン
休館日:火曜日(祝日の場合は開館し次の平日に休館)･年末年始
〒188-0012 西東京市南町 5-6-18 イングビル１階
西東京市市民協働推進センター ゆめこらぼ
Tel: 042-497-6950　FAX: 042-497-6951
E-mail: yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp
URL: http://www.yumecollabo.jp/